



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月6日

上場会社名 不二サッシ株式会社

上場取引所 東

コード番号 5940 URL <http://www.fujisash.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土屋 英久

問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長 (氏名) 濱高 和長

TEL 044-520-0733

四半期報告書提出予定日 平成25年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	55,794	4.4	564	—	221	—	△41	—
24年3月期第3四半期	53,435	0.9	△50	—	△487	—	△713	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 136百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △839百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△0.42	—
24年3月期第3四半期	△7.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	83,806	7,055	8.3	9.59
24年3月期	74,262	6,920	9.2	8.54

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 6,942百万円 24年3月期 6,839百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—		

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,000	3.8	2,500	22.1	2,000	22.9	1,500	15.5	15.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	98,334,867 株	24年3月期	98,334,867 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	63,625 株	24年3月期	57,970 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	98,271,433 株	24年3月期3Q	98,272,360 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の当社グループ（当社および連結子会社）の業績は、当社グループが主力とするビルサッシを中心とした建材事業分野においては、建設投資の先行指標である着工建築物床面積が小幅ながら増加するなど回復傾向にあり堅調に推移しました。一方、形材外販事業においては、アルミ加工品・アルミ精密加工品の市場の低迷が続いており、今後もこの分野の需要動向は厳しい状況が続くものと思われまます。環境事業においては、震災の影響で止まっていた飛灰処理設備プラント等の新規物件が動き出し受注活動を強化しております。

このような状況の中、当社グループは、「中期経営3ヵ年計画（平成23年度～25年度）」を策定し、グループ収益力と財務体質の強化を図り、持続的な成長を目指すべく、グループ全社一丸となって計画の推進に取り組んでいます。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高557億9千4百万円（前年同期比4.4%増）と増収となり、利益面では営業利益5億6千4百万円（前年同期比6億1千5百万円良化）、経常利益2億2千1百万円（前年同期比7億9百万円良化）、四半期純損失4千1百万円（前年同期比6億7千2百万円良化）と最終利益は若干の赤字となりましたが、前年同期と比べ大幅に改善し増益となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

[建材事業]

主力の建材事業においては、着工建築物床面積の増加など市場が小幅ながら回復傾向にある中、利益確保の営業に徹したことに加え、中期経営3ヵ年計画で取り組んでいる収益改善施策の効果や東日本大震災の復旧需要への対応に注力した結果、売上高は385億4千8百万円（前年同期比10.2%増）、セグメント利益は7億1千5百万円（前年同期比11億2千4百万円良化）と黒字に転じ、大幅な増収増益になりました。

[形材外販事業]

形材外販事業においては、アルミ加工品等の市場の低迷が続く中、一般形材の受注にも注力しておりますが、アルミ地金市況の下落の影響もあり、売上高は141億円（前年同期比8.8%減）、セグメント利益は6億4千3百万円（前年同期比2億6千6百万円減）となりました。

[環境事業]

環境事業においては、震災の影響で止まっていた新規物件が動き出したことにより受注は順調に推移し、売上高も当期受注当期売上のメンテナンス工事に注力した結果、21億5百万円（前年同期比7.3%増）と増収になりました。セグメント利益は1億1千2百万円（前年同期比2千9百万円減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は562億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ90億6千7百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が59億4千9百万円減少し、現金及び預金が32億4百万円、仕掛品が107億7千5百万円、原材料及び貯蔵品が2億4千7百万円増加したことによるものであります。固定資産は275億7千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億7千6百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が2億4千9百万円増加し、投資その他の資産が1億6千4百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は838億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ95億4千4百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は613億7千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ91億6千2百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が7億9千2百万円減少し、前受金が101億4千7百万円増加したことによるものであります。固定負債は153億8千万円となり、前連結会計年度末に比べ2億4千8百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が1億3千9百万円減少し、退職給付引当金が3億7千万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、767億5千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ94億1千万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は70億5千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億3千4百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が8千9百万円増加し、少数株主持分が3千1百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は8.3%（前連結会計年度末は9.2%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移していることなどから、平成24年5月9日に公表しました予想数値から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,525	12,729
受取手形及び売掛金	20,908	14,959
商品及び製品	1,133	1,223
仕掛品	11,871	22,646
原材料及び貯蔵品	3,066	3,313
販売用不動産	222	210
その他	1,279	1,976
貸倒引当金	△840	△824
流動資産合計	47,166	56,234
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	35,677	35,616
減価償却累計額及び減損損失累計額	△28,171	△28,423
建物及び構築物(純額)	7,505	7,193
機械装置及び運搬具	44,136	43,990
減価償却累計額及び減損損失累計額	△42,015	△42,052
機械装置及び運搬具(純額)	2,120	1,937
土地	13,166	13,163
リース資産	271	356
減価償却累計額	△114	△133
リース資産(純額)	157	222
その他	14,479	14,952
減価償却累計額及び減損損失累計額	△13,918	△13,707
その他(純額)	560	1,244
有形固定資産合計	23,511	23,761
無形固定資産		
その他	112	175
無形固定資産合計	112	175
投資その他の資産		
投資有価証券	1,620	1,785
長期貸付金	51	41
繰延税金資産	212	213
その他	2,603	2,305
貸倒引当金	△1,017	△711
投資その他の資産合計	3,470	3,634
固定資産合計	27,095	27,572
資産合計	74,262	83,806

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,095	18,303
短期借入金	24,061	24,017
リース債務	57	72
未払法人税等	152	128
前受金	5,824	15,972
役員賞与引当金	3	0
工事損失引当金	260	208
資産除去債務	99	99
その他	2,652	2,568
流動負債合計	52,209	61,371
固定負債		
長期借入金	2,475	2,336
リース債務	113	163
繰延税金負債	207	225
再評価に係る繰延税金負債	430	430
退職給付引当金	11,033	11,403
資産除去債務	182	179
その他	687	639
固定負債合計	15,131	15,380
負債合計	67,341	76,751
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,709	1,709
資本剰余金	814	814
利益剰余金	3,763	3,369
自己株式	△8	△8
株主資本合計	6,279	5,885
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16	73
土地再評価差額金	1,488	1,488
為替換算調整勘定	△911	△504
その他の包括利益累計額合計	560	1,056
少数株主持分	81	112
純資産合計	6,920	7,055
負債純資産合計	74,262	83,806

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	53,435	55,794
売上原価	45,981	47,452
売上総利益	7,453	8,342
販売費及び一般管理費	7,503	7,777
営業利益又は営業損失(△)	△50	564
営業外収益		
受取利息	26	18
受取配当金	49	23
受取保険金	12	92
受取賃貸料	22	23
その他	70	73
営業外収益合計	181	230
営業外費用		
支払利息	494	475
手形売却損	45	34
持分法による投資損失	7	8
その他	70	54
営業外費用合計	618	573
経常利益又は経常損失(△)	△487	221
特別利益		
固定資産売却益	4	7
損害賠償金	14	—
株式交換差益	14	—
特別利益合計	33	7
特別損失		
固定資産除却損	35	29
投資有価証券評価損	5	0
災害による損失	19	21
退職給付費用	10	—
環境対策費	—	11
その他	4	17
特別損失合計	75	80
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△528	149
法人税等	170	161
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△699	△11
少数株主利益	14	29
四半期純損失(△)	△713	△41

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△699	△11
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△88	89
土地再評価差額金	61	—
為替換算調整勘定	△112	57
その他の包括利益合計	△139	147
四半期包括利益	△839	136
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△849	104
少数株主に係る四半期包括利益	10	31

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

第1四半期連結会計期間より、フィリピン子会社の機能通貨をフィリピンペソから円に変更しております。前連結会計年度において為替換算調整勘定に計上していた△350百万円を利益剰余金へと振替を行っております。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	建材	形材外販	環境	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	34,993	15,456	1,962	52,412	1,022	53,435
セグメント間の内部売上高又は振替高	212	6,841	—	7,054	2,206	9,260
計	35,206	22,297	1,962	59,466	3,228	62,695
セグメント利益又は損失 (△)	△409	909	141	642	189	831

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」、「運送」、「保管管理」、「各種金属の表面処理」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	642
「その他」の区分の利益	189
セグメント間取引消去	105
全社費用（注）	△987
四半期連結損益計算書の営業損失 (△)	△50

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	建材	形材外販	環境	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	38,548	14,100	2,105	54,754	1,040	55,794
セグメント間の内部売上高又は振替高	241	6,363	—	6,605	2,117	8,722
計	38,789	20,463	2,105	61,359	3,157	64,517
セグメント利益	715	643	112	1,470	120	1,591

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」、「運送」、「保管管理」、「各種金属の表面処理」、「LED商品」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,470
「その他」の区分の利益	120
セグメント間取引消去	59
全社費用（注）	△1,085
四半期連結損益計算書の営業利益	564

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 【重要な後発事象】

該当事項はありません。